

理事長報告 共に生きる障がい者展

理事長 野間田 徹

大阪府の主催で、毎年 11 月に開催される障害者啓発の為のイベントです。堺市のビッグアイで、11/18(土)11/19(日)の開催でした。土曜日は、風も強く小雨交じりで、とても寒い天気でした。

オープニングでは、高校生の中国獅子舞がありました。前の人を肩の上乗せて立ち上がったり、客席まで来て、客の頭を囁んだりと迫力と愛嬌のある演技でした。

福祉機器の展示も色々あり、私は、パソコンへの視線入力の実験をさせていただきました。テレビなどで見たことは、あるのですが、どのような仕組みなのか知りませんでした。

まず、画面上の点を見つめて破裂させるゲームのような前準備で設定完了です。後は、画面上の文字盤の文字に視点を一定時間固定すると円グラフのようなタイマーが動き文字入力ができます。この一定時間固定するのがなかなか難しかったです。

仕組みとしては、画面とキーボードの間に細長い「アイトラッカー」という装置が付いています。この装置から無害の赤外線が出て、目から反射した赤外線を読み取ることによって視線の位置が分かる仕組みだそうです。

もう一つ見たのは、紙の本を画像で認識して、読んでくれる電気スタンドのような装置です。本を開いて、下に置くと自動で文字が表示されていきます。後で調べると、読み上げてくれる装置もあるようです。

会場では、施設で作った製品が売られていました。クッキーや縫製品など多くの作品がありました。ペンケースとクッキーをお土産に買って帰りました。

